

高等教育研究開発センター 2023 年度活動報告

1. 2023 年度の重点事業・活動

下表の 7 項目を年度始めに重点事業をしてあげ、それぞれについて表右列のように取り組みました。

年度始めに重点にあげたもの	今年度の取り組み
(1) 大阪公立大学学士課程 2 年生調査、大学院修了時調査 (M2 調査)、府大 3 年生調査、市大上級生調査の実施	全調査を実施した。年度末実施の修了時調査以外は、基礎集計を教育改革委員会に報告した
(2) 教育推進本部における、大阪公立大学の組織的な教育改善・FD の方向性の整理・検討支援	第 2 回 FD 研究会で、本学の FD のあり方について議論する企画を実施
(3) 教育学修成果指標の検討 WG を中心とする、本学の教育学修成果指標 (含 OMU 指標 (仮)) のあり方と開発に関する検討推進	WG にて指標の検討を継続している
(4) 本学の状況やニーズに沿った、多様で多層的な全学 FD 事業の企画・推進と部局 FD 支援	各種の全学 FD 事業を主催した (後述の項目 3 を参照)
(5) ChatGPT 等 AI 普及の教育・学修への影響や関わり方、教育のあり方の検討と開発	生成 AI をテーマにした FD 研修会、教育改革フォーラムを開催した他、教員・学生向けガイドラインの原案作成に協力した
(6) 複数キャンパスの多様な学生に向けた学修支援の開発および普及に関する活動支援	杉本キャンパスと中百舌鳥キャンパスで学ぶ学生向けの学修支援活動を行う教育学修支援室学修支援部門の活動に協力した
(7) 全学および各部局・学位プログラムにおける教育改善・FD の推進・支援と内部質保証システムの構築・推進のための部局の教育に関するヒアリングの実施	FD 事業については後述の項目 3 を、教育の内部質保証については後述の項目 4 を参照。部局ヒアリングは、国際基幹教育機構教育改革委員会による実施とし、センター研究員が協力した。

2. 大学教育・高等教育に関する研究、調査、提言

2. 1. 大学教育のあり方に関する研究

学士課程および大学院教育の授業提供やカリキュラム運営への協力を通じて、大学教育のあり方に関する実践研究を継続しています。また、各研究員が関連する共同研究にも取り組んでいます。その一環で、2020 年度末と 2021 年度秋に大阪市立大学学生課が実施したアンケートの分析を通じて、大学という場が学生の学びや成長に果たす役割について考察をしました。

・令和 4 年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C) (一般)「大学の「学園」としての

「場」の学生における価値とその形成に関する実証的探索的研究」(研究代表者：飯吉弘子、研究分担者：西垣順子、平知宏、橋本智也、深野政之、外尾安由子、課題番号：22K02721)

・「コロナ禍によるオンライン授業本格実施時期における大阪市立大学学生の学生生活に関する意識：不安・悩みおよび大学に対する要望を中心に」、『大阪公立大学大学教育 第2巻』(2024/3/31 発行、pp3-22.) 著者：西垣順子・李頌雅・外尾安由子

2. 2. 教育改善・FDおよび大学教育の評価・内部質保証に関する研究

昨年度に、2021年度に大阪市立大学で行った調査(学生・院生・教員調査)の結果分析を報告書にまとめましたが、その成果を共有するFD企画を第2回大学教育研究セミナーおよび第2回FDセミナーで報告しました。また各研究員が学会等で、関連する課題研究や共同研究に取り組んでいます。

・「学び・大学・社会に対する学生の要求・運動・表現と青年期の発達保障—学ぶ権利の実質を保障しうる大学評価のあり方を探る(3)」、『現代社会と大学評価第19号(大学の自律と「大学人像」)』(2023/10/10 発行、pp.57-66.) 著者：西垣順子・木原彩・楠見真涼・田中真音・松原和花・中山弘之

2. 3. カリキュラム・教育方法・学修支援の開発に関する研究

全学生必修・学部混合型の初年次教育科目である初年次ゼミナールの効果検証に、研究視点からも協力しています。今年度は、開学初年度に国際基幹教育機構が実施した受講生と教員対象のアンケート調査結果を、論文にまとめて公開しました。ほぼ同様のアンケートは今年度にも実施されており、現在分析を進めています。

・「初年次教育科目「初年次ゼミナール」の目的と到達目標の達成状況を検証する：2022年度受講者アンケートの結果から」、『大阪公立大学大学教育 第2巻』(2024/3/31 発行、pp.32-41.) 著者：橋本智也

・大阪公立大学国際基幹教育機構研究奨励費「データを活用した初年次教育の授業開発と実践研究」(橋本智也)

3. FD (Faculty Development) 事業

3. 1. センター主催の全学FD事業(特記のない場合はオンライン開催)

名称	内容	年月日
新任教員FD研修	Zoomによるオンライン研修(同期型) センター長からの挨拶：飯吉 講義「授業を育てる」：星野 オンデマンド研修 「大阪公立大学の歴史について」：飯吉、山東 「授業におけるICTの活用について」小島 「本学の教育とFD」西垣、橋本(智) 「データで深める本学の学生についての理解」畑野、平、西垣	4月4日 日曜日 13:30~15:00
FD研修会	「ChatGPTと大学教育-対話型AIが教育現場にもたらすインパクトと対応策」 適用事例紹介：黄瀬 浩一(情報学研究科)	5月12日 金曜日 10:45~12:15

	<p>大規模言語モデルの原理とその応用：石丸 翔也（特任教授）</p> <p>教育現場への影響と注意点：星野 聡孝</p> <p>パネルディスカッション</p> <p>セキュリティへのインパクト：宮本 貴朗（情報学研究科）]</p>	
第2回大学教育研究セミナー	<p>「2021年度実施調査から見た、大阪市立大学学士課程学生大学院生教員の教育の実態」</p> <p>報告1「量的データから見た、学生および教員の教育実態」：平</p> <p>報告2「質的データから見た、学生および教員の教育実態」：橋本</p> <p>司会：西垣 全体企画：平、橋本</p>	<p>6月9日金曜日</p> <p>15：00～16：00</p>
第2回全学FDセミナー	<p>「大学院生のキャリアデザイン支援を考えるー文学・理学など基礎系研究分野の支援事例を中心にー」</p> <p>司会：西垣</p> <p>報告1「大学院生等へのキャリア形成支援事業の取組とその成果について」：大仲清司（教育学修支援室）・鳥生隆（国際基幹教育機構）</p> <p>報告2「2021年度実施調査から見た大学院進学と修了後進路の状況」：平</p>	<p>7月31日月曜日</p> <p>13：15～14：45</p>
工学FDセミナー	<p>「高等学校における学習指導要領改定に伴う情報科教育の今」講師：鹿野利春（京都精華大学）</p> <p>閉会挨拶：星野</p> <p>司会：兼子佳久（工学研究科）</p> <p>共催：工学部・工学研究科教務委員会、高等教育研究開発センター</p>	<p>8月29日火曜日</p> <p>13：15～14：45</p>
第2回FD研究会	<p>「大阪公立大学におけるFDのあり方について考える(2)」</p> <p>報告1「商学部での教育改革の取り組み」：鈴木洋太郎（経営学研究科）</p> <p>報告2「工学部・工学研究科における入学時アンケート」：兼子佳久（工学研究科）</p> <p>報告3「複数の担当教員による成績評価のバラツキから学べること」：東泰孝（獣医学研究科）</p> <p>コメント：平、司会：西垣順子</p>	<p>9月12日火曜日</p> <p>14：30～16：30</p>
授業デザイン研修I	<p>「1回の授業をデザインするための基礎」</p> <p>ミニ講義1「授業の目的と達成目標」：畑野</p>	<p>11月21日火曜日</p> <p>13：00～17：30</p>

	<p>ミニ講義2「アクティブ・ラーニング」：畑野</p> <p>ミニ講義3「授業のフレームワークを作る」：星野</p> <p>ワーク「ミニ授業の準備」</p> <p>発表「ミニ講義」</p> <p>クロージング 研修のふり返し：星野</p>	
初年次ゼミ ナール実践 事例共有会	<p>報告1：明戸隆浩（経済学研究科）</p> <p>報告2：徳岡良恵（看護学研究科）</p> <p>司会：西垣</p>	<p>11月27日 月曜日</p> <p>13：15～14：45</p>
第2回教育 改革フォー ラム	<p>「大学における生成AIの活用について考える—教職員・学生の活用事例から—」</p> <p>開会挨拶：辰巳砂昌弘（学長）</p> <p>講演：杉森公一「生成AI時代における大学教育のデザインとAIリテラシー」（北陸大学高等教育推進センター長）、</p> <p>安川要平（YassLab(株)代表取締役）「ChatGPTを組み込んだ24時間TA：教育現場におけるLLM活用の課題と改善」</p> <p>清原文代（国際基幹教育機構）「外国語教育におけるChatGPTの活用事例」</p> <p>学内取組紹介</p> <p>パネルディスカッション：内田時央（情報学研究科基幹情報学専攻（M1））、東谷剛志（教育推進課教務システム担当係長）</p> <p>閉会挨拶：橋本文彦（副学長）</p> <p>総合司会：橋本、パネルディスカッション司会：星野</p> <p>共催：教育改革委員会／教育推進本部／教育学修支援室学修支援部門</p>	<p>12月13日 水曜日</p> <p>13：15～15：15</p>
高大接続セ ミナー	<p>「高校教育の変化と展開：「総合的な探求の時間」と大学教育との接続」</p> <p>講演：時任隼平（関西学院大学）</p> <p>総括：秋田成司（アドミッションセンター長）</p> <p>司会：畑野</p> <p>共催：アドミッションセンター</p>	<p>3月4日 月曜日</p> <p>10：45～12：15</p>

3. 2. センターが共催した全学FD

名称	内容	年月日
FD/SD 研修	<p>「大阪公立大学における障がい学生支援を考える」</p> <p>主催：アクセシビリティ支援委員会・アクセシビリティ</p>	<p>12月8日 金曜日</p> <p>15：00～16：30</p>

	イセンター <オンライン開催> 講演1：三田優子（アクセシビリティセンター長） 講演2：工藤康介（農学研究科） 講演3：清原文代（国際基幹教育機構）	
--	--	--

3. 3. 部局 FD および部局プロジェクトへの参画・支援

部局	内容	年月日
COIL 大学の世界展開 力強化事業	文科省申請書の FD 部分の記載協力（飯吉）	2023 年 5 月 17 日 ～24 日
経営学研究科 FD 研修	講師として講演 「Moodle 及び『ていら・みす』の活用法」（星野）	2023 年 10 月 11 日
文学研究科大学教育授業実習制度	来年度の実習に向けた打ち合わせ（飯吉）	2023 年 9 月 5 日 および 2024 年 2 月 24 日
大阪公立大学・兵庫県立大学 令和 5 年度 インタラクティブ・マッチング—企業と博士人材の交流会	杉本キャンパス事前発表リハーサルの指導（飯吉）	2023 年 12 月 15 日
商学部公共経営授業	学生の朗読劇発表見学と評価・コメント（飯吉・西垣・平）	2024 年 1 月 19 日 および 26 日
医学部医学科教育点検評価委員会	委員として参画（飯吉）	2024 年 3 月 28 日

3. 4. 出版物の発行

名称	内容	年月日
「大学教育だより」第 2 号	<ul style="list-style-type: none"> ・理学部と看護学部の学生交流と座談会、学部学域・研究科・国際基幹教育機構の教育・FD 紹介、OMU ラーニングセンター（教育学修支援室学修支援部門）の支援内容や自主学修教材の紹介、高等教育研究開発センターが実施する全学 FD の推進・支援の紹介 ・編集委員会は、橋本（委員長）、飯吉、深野、水野、畠山 	2024/03/31
「アンロゾ」第 2 号	<ul style="list-style-type: none"> ・理系・文系教員による「大学で学ぶ意義やおもしろさ」の紹介 ・編集委員会は、橋本（委員長）、飯吉、深野 	2024/03/31

研究紀要「大阪公立大学大学教育」第2巻	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告論文、資料論文、全学 FD 報告、「テキストを語る」などを掲載 ・ 編集委員会は、西垣（委員長）、橋本、平、深野、森岡、北村、水野 	2024/03/31
---------------------	--	------------

4. 大阪公立大学の教育の評価、内部質保証の支援

4. 1. 学生調査の実施

大阪公立大学での2年生調査と大学院修了時（M2）調査、大阪府立大学の3年生調査、大阪市立大学の3-4年生調査をそれぞれ実施しました。学士課程対象の3調査については、全学および部局ごとの集計結果を教育改革委員会に報告しました。M2調査は3月下旬まで実施していたため、来年度に同様の報告を行います。

4. 2. 学習ポートフォリオの開発・運用等への協力

大阪公立大学で運用している学修・教育支援サイト「ていら・みす」およびLMSであるMoodleの開発や運用を行う教育学修支援室に協力している他、「eポートフォリオによる学修成果の可視化コンソーシアム」にも参画しています。

4. 3. 大阪公立大学の教学アセスメントの運用準備への協力

大阪公立大学の内部質保証システムを適切に回すため、2025年度に自己点検評価を実施することになっている。教育プログラムの自己点検評価も同様で、2023年度には各学部・学域・研究科・国際基幹教育機構のアセスメントポリシーとアセスメントリストの策定が、教育推進本部および教育改革委員会で行われました。また、毎年度の点検を行うために、その項目の選定と点検実施報告のフォーマットづくりが教育改革委員会で行われましたが、これらの検討プロセスにセンター研究員が協力しました。

また、国際基幹教育機構内の教育改革委員会にも、センター研究員が参画しており、機構のアセスメントリストづくりやアセスメントの実施・取りまとめにも協力しました。

5. 教育方法の開発、教育・学修支援

教育学修支援室の学修支援部門（OMUラーニングセンターの運営および学生FDの支援を実施）、教育支援システム部門（Moodleやていら・みすの運用）の活動に、研究員がそれぞれ参画しています。全学や部局のFDでは、教育方法開発等に関連する企画も実施している（項目2を参照）他、教育実践事例webデータベースの運用も行っています。

また、初年次教育科目委員会に専任研究員が参加しており、初年次ゼミナールの受講生と担当教員に対するアンケート結果の分析を行うとともに、新年度科目担当者への説明会にも協力しました。また、国際基幹教育機構主催の初年次ゼミナール実践事例共有会の企画・運営を行いました。

6. 研究員の学内全学プロジェクトなどへの参画

大阪公立大学で行われている教育に関する全学プロジェクトや各種センター等の活動に、

専任研究員が参画・協力しています。2023年度は次のようなものがありました。

教育学修支援室副室長 飯吉

教育学修支援室運営委員会 飯吉、星野（教育支援系システム部門部門長）、西垣（学修支援部門部門長）

教育学修支援室学修支援部門会議 飯吉、西垣、平、橋本、深野

教育学修支援室教育支援系システム部門会議 星野、飯吉

アドミッションセンター 平

大阪市立大学博士・修士人材キャリア形成支援プログラム運営委員会 飯吉

地域連携副専攻委員会および地域連携副専攻プロジェクトチームへの参加 平

グローバル・コミュニケーションコースワーキンググループ委員 平

6. 専任研究員の学内委員会活動など

6. 1. 全学委員会委員等

<大阪公立大学>

大学執行会議 飯吉（学長補佐） 畑野（学長特別補佐／オブザーバー）

学長室メンバー 畑野

教育改革委員会 飯吉（副委員長）、星野、西垣（オブザーバー）

大学評価委員会 西垣、畑野

教員自己点検評価委員会委員 西垣 授業評価アンケート審査会委員 星野、西垣

女性研究者支援室運営委員会委員・岡村賞選考委員 西垣

アドミッションセンター兼任研究員 平 大学史資料室運営委員会 飯吉

学術セミナーメンバー 飯吉 畑野

情報システム委員会委員 星野 情報セキュリティ推進者 星野

<大阪市立大学>

教育推進本部会議 飯吉 全学共通教育教務委員会 西垣

6. 2. 国際基幹教育機構に関連する委員会

国際基幹教育機構教授会および研究院会議委員 飯吉、星野、西垣

国際基幹教育研究院運営委員会 飯吉

教員所属グループ長連絡会議 飯吉

国際基幹教育機構科目運営委員会(旧、全体委員会) 飯吉、西垣、深野

初年次教育科目委員会 西垣（マネージャー）、深野（副マネージャー）

物理科目委員会 星野 大学院共通教育科目委員会 飯吉（マネージャー）

機構内教育改革委員会 西垣（委員長）、深野、橋本、平、畑野

高等教育推進機構教育運営委員会 深野

国際基幹教育機構広報WG 橋本

7. 学外の高等教育の推進・充実に係る団体や学協会等の活動への参画・協力

大学 IR コンソーシアム 星野（代表者）、畑野（中期計画検討部会部会長）、平（調査・活用部会）、橋本（広報・WS 部会副部会長）

大学コンソーシアム大阪高大連携部会 平

e ポートフォリオによる学習成果の可視化コンソーシアム 星野（運営委員会委員）

産学連携教育イノベーター育成プログラム 星野（講師）

名古屋大学高等教育研究センター「質保証を担う中核教職員能力開発拠点」運営委員会委員 飯吉

大学教育質保証評価センター 評価実施チーム委員 西垣

大学教育学会 飯吉（常務理事（国際担当）（～2023 年 6 月）、理事・代議員、学会誌編集委員長） 畑野（代議員・事業構想委員）

大学評価学会 西垣（理事・事務局長）、深野（理事）

大学評価コンソーシアム 橋本（幹事）

日本経済団体連合会 採用と大学教育の未来に関する産学協議会 産学連携推進分科会委員 飯吉

和歌山大学教学マネジメントアドバイザリーボード 畑野

8. 専任研究員による高等教育に関する研究活動（執筆、共同研究など）

<論文>

- ・西垣順子・木原彩・楠見真涼・田中真音・松原和花・中山弘之（2023）「学び・大学・社会に対する学生の要求・運動・表現と青年期の発達保障—学ぶ権利の実質を保障しうる大学評価のあり方を探る(3)」、『現代社会と大学評価第 19 号（大学の自律と「大学人像」）』 pp.57-66.
- ・西垣順子・李頌雅・外尾安由子（2024）「コロナ禍によるオンライン授業本格実施時期における大阪市立大学学生の学生生活に関する意識：不安・悩みおよび大学に対する要望を中心に」、『大阪公立大学大学教育』第 2 巻, pp3-22.
- ・平知宏（2024）「高校における学習習慣と大学での諸活動の関連性：2021 年度実施大阪市立大学学生調査データを用いた探索的分析」『大阪公立大学大学教育』第 2 巻, pp. 23-31.
- ・橋本智也(2024)「初年次教育科目「初年次ゼミナール」の目的と到達目標の達成状況を検証する：2022 年度受講者アンケートの結果から」、『大阪公立大学大学教育』第 2 巻, pp.32-41.

<研究資金獲得>

- ・飯吉弘子 令和 4 年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C) (一般)「大学の「学園」としての「場」の学生における価値とその形成に関する実証的探索的研究」(研究代表者：飯吉弘子、研究分担者：西垣順子、平知宏、橋本智也、深野政之、外尾安由子、課題番号：22K02721)
- ・平知宏 令和 5 年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 基盤研究 (C) (一般)「大学での学習態度形成プロセスの探索的研究：高大接続の観点から」(課題番号：23K02508)

- ・橋本智也 大阪公立大学国際基幹教育機構研究奨励費「データを活用した初年次教育の授業開発と実践研究」

<その他>

- ・飯吉弘子 (2023)「書評：湯川次義 著『戦後教育改革と女性の大学教育の成立』」日本教育学会『教育学研究』第90巻 第2号, pp.327-329.
- ・西垣順子 (2023・2024)「コロナ禍の大学教育における『学び』の現状と発達保障」, 人間発達研究所通信 No.174-176 (2023年9月、12月、2024年3月発行) に連載

9. 専任研究員によるその他の研究活動(執筆、共同研究など)

<論文>

- ・ **Hatano, K.**, Hihara, S., Sugimura, K., & Kawamoto, T. (2023). Patterns of personality development and psychosocial functioning in Japanese adolescents: A four-wave longitudinal study. *Journal of youth and Adolescence*, 52, 1074–1087. <https://doi.org/10.1007/s10964-022-01720-3>
- ・ **Hatano, K.**, Hihara, S., Sugimura, K., & Mizokami, S. (2023). Identity formation with gender differences in university students: A three-wave longitudinal study. *Current Psychology*, 42, 30174–30186. <https://doi.org/10.1007/s12144-022-04036-4>
- ・ **Hatano, K.**, Hihara, S., Ikeda, M., Nakahara, J., Tanaka, S., & Sugimura, K. (2023). Workplace identity profiles: Associations with personality traits and work adaptation of young Japanese adults. *Journal of Adult Development*, 30, 256–266. <https://doi.org/10.1007/s10804-022-09435-2>
- ・ Ikeda M, **Hatano, K.**, Tanaka, S. and Nakahara, J. (2023). Validation of the Japanese version of the revised version of the compound psychological capital scale (CPC-12R). *Frontier in Psychology*. 13:1053601. <https://doi.org/10.3389/fpsyg.2022.1053601>
- ・ Sugimura, K., Hihara, S., **Hatano, K.**, Nakama, R., Saiga, S., & Tsuzuki, M. (2023). Profiles of emotional separation and parental trust from adolescence to emerging adulthood: Age differences and associations with identity and life satisfaction. *Journal of youth and Adolescence*. 52, 475–489 <https://doi.org/10.1007/s10964-022-01716-z>
- ・西垣順子 「地域とともに育つためのフリースクール評価のあり方」,『現代社会と大学評価』第19号, pp.67-89.

<研究資金獲得>

- ・畑野快 令和4年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(B)(一般)「青年期アイデンティティ形成のメカニズムの解明と介入に関する複合的研究」(研究代表者:畑野快、課題番号:22H01083)
- ・西垣順子 「「子ども・若者の育ちの場」が地域と共に育つための評価方法の開発」、(NPO法人『碧いびわ湖』からの受託研究) <休眠預金活用事業「すべての子どもの育ちを保障する地域総動」(2022年度第1回通常枠にて採択)の一環>

<受賞>

- ・畑野快 日本心理学会国際賞・奨励賞
- ・畑野快 大阪公立大学若手奨励賞(人文・社会科学部門)

<その他>

- ・平知宏（2024）「教育の中での認知科学のお化け」, 認知科学第31巻第1号, pp.1-2.
（巻頭言）
- ・小林春美・佐治伸郎・平知宏・橋本敬（2024）「特集「ことばの認知科学：言語の基盤とは何か」編集にあたって」, 認知科学第31巻第1号, pp.3-7.（特集号編集委員）

10. 専任研究員によるその他の活動（他大学の外部委員、関連学会の役員など）

私立清教学園 評議員

大阪府立四条畷高校探求チャレンジ運営アドバイザー（2023年度）畑野

日本教育工学会（編集委員）畑野

桐蔭横浜大学 臨床研究倫理委員会委員 畑野

日本発達心理学会 畑野（出版企画委員会委員）

日本心理学会 畑野（講演・出版等企画小委員会委員）、西垣（男女共同参画委員会委員：
2022年11月～、代議員：2023年3月～）

日本認知科学会 平（編集委員）

Editorial Board: Journal of Youth and Adolescence. 畑野

Editorial Board: Journal of Adolescence .畑野

Editorial Board: Identity: An International Journal of Theory and Research. 畑野

人間発達研究所紀要編集委員会委員 西垣

高等教育研究開発センタースタッフと運営体制

（2023年4月1日～2024年3月31日）

専任研究員

飯吉 弘子（高等教育研究開発センター センター長／国際基幹教育機構教授）

星野 聡孝（高等教育研究開発センター 副センター長／国際基幹教育機構教授）

西垣 順子（国際基幹教育機構教授） 平 知宏（国際基幹教育機構准教授）

橋本 智弘（国際基幹教育機構准教授） 深野 政之（国際基幹教育機構准教授）

畑野 快（国際基幹教育機構准教授）

兼任研究員

川添 充（国際基幹教育機構教授） 福島 祥行（国際基幹教育機構教授）

池田 華子（国際基幹教育機構准教授） 谷口 栄一（国際基幹教育機構准教授）

森岡 次郎（現代システム科学研究科准教授） 橋本 文彦（経済学研究科教授）

彭 浩（経済学研究科准教授） 鈴木 洋太郎（経営学研究科教授）

小柿 徳武（法学研究科教授） 川野 英二（文学研究科教授）

北村 昌史（文学研究科教授） 小島 篤博（情報学研究科准教授）

大西 克実（情報学研究科准教授） 水野 寿朗（理学研究科講師）

谷口与史也（工学研究科教授） 鍋島美奈子（工学研究科教授）

平井 規央（農学研究科教授） 金子 幸弘（医学研究科教授）

畠山 典子（看護学研究科講師）

客員研究員

青木 豊彦（客員教授・株式会社アオキ取締役会長）

佐々木洋子（客員研究員・和歌山県立医科大学）

研究補助

木村千紗（杉本キャンパス）

事務局（教育推進課国際基幹教育機構担当）

浅野 健（中百舌鳥キャンパス）

高島 陸（中百舌鳥キャンパス）

大谷 敏恵（杉本キャンパス）

古谷 智美（中百舌鳥キャンパス）

木下 祐吏（中百舌鳥キャンパス）

谷口 亜紀（中百舌鳥キャンパス）